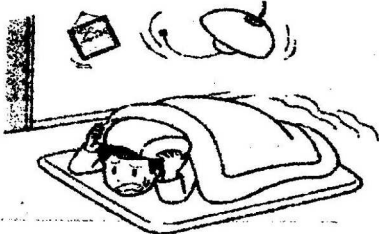




いつ起こるとも知れない災害に備えるためにも、時任町にお住まいの皆様
の防災意識の向上に役立てばと思い【自主防災ときどろ】を、発行することにしました。

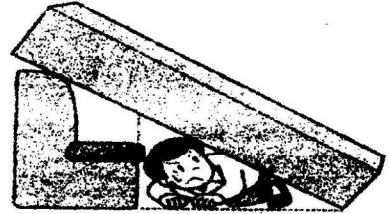
① 突然の揺れから身を守る



布団、クッション、スーツケースなど手近にあるもので頭やからだを保護する。



丈夫なテーブルや机の下にもぐり、脚をしっかりとつかむ。



潜り込むものが無い時は、落下物と丈夫な家具との間にできる三角スペースへ逃げ込む。

地震発生時の対処法

行動マニュアル

① 揺れが大きい場合は収まってから火の始末を

使用中の電気器具のプラグも抜きます。大揺れの時は、火を消すことが不可能です。普段から火元の周辺整理を心がけましょう。

② 出口を確保

建物のゆがみにより開かなくなる可能性があるため、窓やドアを大きく開けて確保します

③ 慌てて飛び出さない

道路では屋根瓦や割れた窓ガラス破片、看板などが落下したり、車が飛び出すこともあります。テレビやラジオで情報収集をしましょう。

④ 室内の移動には履物を

割れたガラスや食器の破片が散乱している可能性があるため、室内の移動には靴やスリッパを履き、手も軍手等で保護をしましょう。

⑤ 近隣との安否確認・助け合いを

地震発生時の際は、住民の協力で崩壊した家屋に取り残された人を救出されたと言う話を聞きます。普段からひとり暮らしの高齢者がどこに住んでいるかを確認し、いざという時の救出担当の割り振りをし、防災訓練に参加する事も大切です。

① 避難の流れ

自宅や職場付近の「避難場所」をあらかじめ確認しておきましょう。

